

校内研修の取組 令和2年度福島小学校

(1) 研修主題

児童の、教師の、「主体的・対話的な深い学び」を目指して
—算数科において自分の考えをもち、説明し合う活動の工夫を通して—

(2) 主題設定の理由

今年度の本校の校内研修も児童の成長につながる「研究」と教師自身の成長につながる「修養」の両面を意識して行いたいと考えている。そして、一人一人が自分事として捉え、意欲的に参加する校内研修を目指していきたい。昨年度、教科を英語科に絞り、外国語活動の中学校との連携を前提に、「主体的に学ぶ学習過程」を工夫し、その活動の中で「活用する力」を伸ばすことを目指した。ゴールを明確にした単元計画の作成、児童の実態にあわせた課題設定、ペアやグループなど内容に合わせた学習形態の工夫、「甘楽町立甘楽中学校区 外国語（英語）教育全体計画」「甘楽中学校区 CAN-DOリスト」「小学校英語語彙チェックリスト」（3・4年生）を作成などにより学習意欲が高まり、自分の考えをもちることができる児童も増えている。

一方で、児童自身が「学習のねらい」を明確し、学び合いの場面で「自分と友だちの考えの共通点や違いを明らかにする話し合い」については十分とは言えず課題が残っている。

算数科は、これまで学んできたことを生かしながら新しい課題を解決していく教科である。既習事項が理解できていなければ、そこでつまづいてしまうという特徴がある。本校の児童の中にも既習事項の理解が十分とは言えない児童や算数科の学習を好んでいても、みんなの前で発表したり、自分の考えを伝えたりすることに苦手意識をもつ児童が多いことも CRT II テストの分析結果などからも読み取れる。そこで、今年度は、児童一人一人が話し合いの場面で、説明する力、表現する力を伸ばすことができる授業の在り方を探っていきたいと考え、本主題を設定した。

(3) 研修のねらい

算数科の授業において、既習事項を手がかりに自分の考えをもち、考えの根拠となる図・言葉・式を使い、説明し合う活動を設定することにより、「活用する力」が高まることを実践を通して明らかにする。

(4) 研修の内容

既習事項を手がかりに

- ・前の学習の延長線にあること、前の時間との「何が違うか?」、「どこがつかえるか?」を。
- ・具体的な操作活動（並べる・数える・測る・組み立てる・比べる・図に表す・・・）を充実する。考えの根拠が体験的な活動からイメージできるように。

「説明し合う活動」⇒「ふりかえり」の充実

- ・課題に対して自分の考えをもち、伝えようとし、友だちの考えを聞いて、よりよい考えに気づき、思考を深めながらより確かな知識を獲得し理解を深める。
- ・教師対1人の児童の発言のやりとりでなく児童が考えを自分の言葉で説明し、それに対して他の児童も付け足しや疑問、反対意見や補足をし、練り上げていく。

「考えることの楽しさ」を目指したい

☆「自分の考え」の栄養となる操作活動→教材・教具の工夫、学年間の系統的な指導の充実。

☆算数の授業スタイルの共有化・パターン化（今まで以上に自分たちに紡ぎだした解決方法と実感できる）

☆系統的な話型の共有化

○「めあて」を子どもたちがイメージできる、前時まで導入の工夫（「既習事項の確認」）

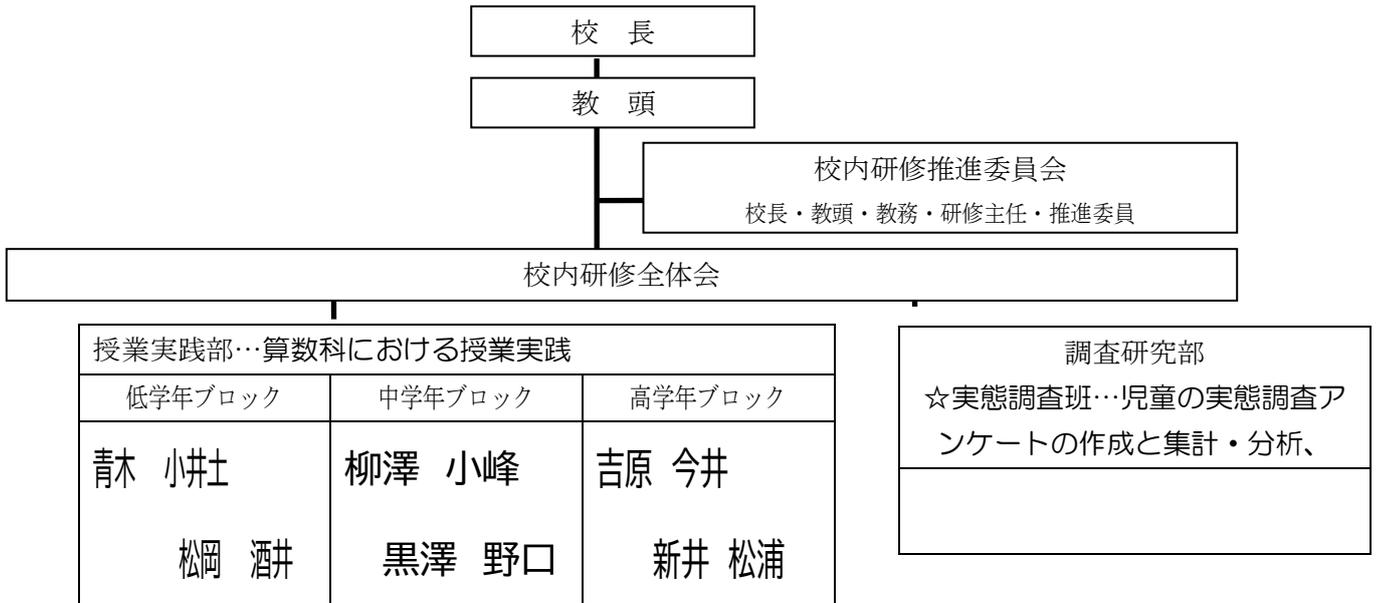
○児童が「やってみたい」「考えたい」と捉える課題提示（「問いのあるめあて」）

○児童の気づきを引き出したり、つぶや

きに基づく発問・問い返しの工夫（「考えの共有の場」）

◎一人学びの充実（家庭学習の広がり 自分で問題を作る 友だちに問題を提供する）

(5) 研修の組織



(6) 研修計画

日時	推・全	内容
4月10日(金)	推進①	今年度の校内研修の内容及び組織・日程の原案作り
4月13日(月)	全体①	研修の内容等の提案及びスタンダード授業の提案
4月15日(水)	全体②	模擬授業① 今井先生(多角形) 吉原先生(平行四辺形) チャットによる視聴を取り入れて
4月20日(月)	全体③	模擬授業② 中学年ブロック 柳沢先生 小峰先生
4月27日(金)	全体④	模擬授業③ 低学年ブロック 青木先生
5月1日(金)		年度始訪問
5月18日(月)	全体⑥	単元構想シート・授業構想シートの作り方 演習
6月1日(月)	全体⑦	「問いのあるめあて」の作り方 演習
6月26日(金)		授業訪問
7月13日(月)	全体⑧	研究授業及び授業検討会
7月30日(木)	全体⑨	筑波大付属からの外部講師を招聘(国語)
9月7日(月)	全体⑩	単元構想シート・授業構想シートの作り方②
10月12日(月)	全体⑪	研究授業及び授業検討会
10月22日(木)		経営訪問
11月2日(月)	全体⑫	筑波大付属からの外部講師 甘楽中での社会科授業参観
12月21日(月)	全体⑬	ブックトークについて
1月12日(火)	全体⑭	ポプラディアの活用について
2月8日(月)	全体⑮	研修のまとめと次年度の方向性について

○推進委員会については必要に応じて招集